

①学力、体力・運動能力の向上に向けた効果的な取組の継続とさらなる推進 [小中学校課]

学力向上に向けた取組 95,192千円(107,269千円)

学力向上に向けて、平成24年度は特に次の3つに取り組みます。

1 授業改善に向けた取組 29,375千円(38,959千円)

- (1) 学校改善プラン実践支援事業 21,055千円(17,432千円)
各学校が学校改善プランに基づき行う学力向上の取組を支援
全国学力・学習状況調査結果の分析と改善策の周知
- (2) 国語学力定着事業 504千円(1,851千円)
「ことばの力」育成プロジェクトを推進するための、高知県国語学習シートの活用事例の普及
- (3) 算数・数学学力定着事業 1,155千円(5,512千円)
单元テストの配信(小学校1年生～中学校3年生)と授業改善への支援
算数・数学に興味関心のある児童生徒を育成するための思考オリम्ピックの実施
- (4) 外国語教育推進事業 2,366千円(10,118千円)
中学校英語パイロットスクール(5校)による公開授業
(英語ライティングシートの効果的な活用事例の普及)
小学校外国語活動パイロットスクール(2校)による公開授業と効果的な小中連携の研究
- (5) 理科教育推進プロジェクト 4,295千円(4,046千円)
高知大学との連携による理科教育を推進するための中核となる教員の養成と拠点校づくり
児童生徒の科学的思考力向上のための「理科思考力問題集(小6・中3)」の作成と配付



2 子どもたちの学力定着状況の把握 19,439千円(0千円)

- 新** 高知県学力定着状況調査実施事業 19,439千円(0千円)
高知県の学力課題である小学校中学年からの二極化、中1ギャップによる学力の低下に対応するために、児童生徒(小5・中2)の学力の定着状況を把握し、学校や教育委員会の学力向上対策のための検証改善サイクルの確立に活用する。

3 高知市への支援事業 46,378千円(68,310千円)

- 新** 中学校学力向上支援事業 46,378千円(68,310千円)
高知市の中学校において、学習習慣の定着及び学校の学力向上に向けたPDCAサイクルの確立を図り、全国平均の学力を目指す。
各学校における実施体制確立のための非常勤講師(学力向上スーパーバイザー)を配置(3名)
生徒の学習意欲向上のための常勤職員32名を配置



※()はH23当初予算額(次頁以降同じ。)

①学力、体力・運動能力の向上に向けた効果的な取組の継続とさらなる推進
[スポーツ健康教育課、幼保支援課]

新・こうちの子ども体力アップアクションプラン

現状

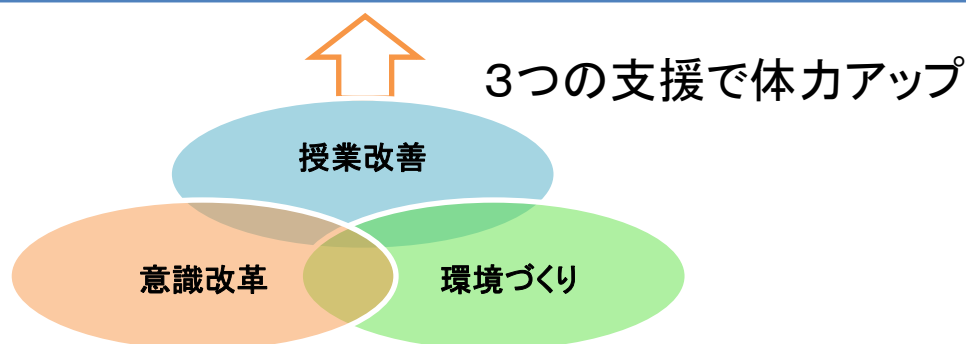
- ・20年度からの体力合計点の伸びは、小学校・中学校とも全国第1位！
- ・全国平均までは届いていない項目がほとんど・・・

課題

- ・体力に関する意識がまだまだ高くない。
- ・教育課題が山積みされており、体力向上の優先順位がまだまだ高くない。
- ・体力向上推進のためのリーダーの不在。

4年後(H27)の到達目標

体力・運動能力を全国平均以上へ (重点プラン)



授業改善への支援 —授業を変えて体力アップ—

・地域スポーツ人材の活用実践支援事業	7,561千円(7,329千円)
・体力づくり実践定着事業費	735千円(703千円)
・体育実技指導力向上事業	1,759千円(2,035千円)
・体力向上体育主任研修会	553千円(566千円)

意識改革への支援 —意識を変えて体力アップ—

・体力・運動能力、運動習慣等調査事業	3,623千円(3,623千円)
・子どもの体力向上支援事業	2,782千円(3,376千円)
・幼児期の身体活動推進事業	557千円(1,257千円)

環境づくりへの支援 —環境を整えて体力アップ—

・トップアスリート夢先生派遣事業	7,140千円(7,140千円)
・幼児期の身体活動推進事業	
・子どもの体力向上支援事業	

①学力、体力・運動能力の向上に向けた効果的な取組の継続とさらなる推進

[生涯学習課]

放課後学びの場の充実

放課後子どもプラン推進事業

416,132千円
(399,968千円)

放課後等に子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の多くの方々(指導員等含む)の参画を得て、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供するとともに、それらの居場所を活用し、子どもたちの学習習慣の定着や学ぶ意欲の向上につながる「放課後学びの場」の定着及び充実を図る。

- 働きながら子育てできる安全安心な環境の充実
- 学習習慣の定着に繋がる取り組み
- 地域コミュニティとの連携

H23 放課後子どもプランの拡充

放課後学び場応援事業(H21~23)

97,825千円

県定額

小学校 【対象経費】 148箇所
○環境整備(修繕及び備品購入)
○指導員の謝金
○教材等の購入
50万円@1子ども教室・児童クラブ

中学校 【対象経費】 39箇所
○環境整備(修繕及び備品購入)
○指導員の謝金
○教材等の購入
91.5万円@1放課後学習室

QUANTITY



すべての児童クラブ、子ども教室、放課後学習室における学習環境や学習活動をより充実させるための助成を行う。

放課後子どもプラン推進事業(国庫補助分)

264,083千円

国1/3 県1/3

小学校 子ども教室 100箇所
児童クラブ 64箇所
【実施校率 86%(148/172)】

中学校 放課後学習室 39 箇所
【実施校率 42%(39/92)】

地域の方々の参画
(地域力の活用)

地域

H24 放課後子どもプランの質の充実

放課後学びの場充実事業(H24~)

96,245千円

県定額

小学校 【対象経費】 173箇所
○学習支援者の謝金
○教材等の購入
40万円@1子ども教室・児童クラブ
(新規開設は50万円)

中学校 【対象経費】 42箇所
○学習支援者の謝金
○教材等の購入
60万円@1放課後学習室
(新規開設は91.5万円)

QUALITY

放課後学び場
人材バンク

7,071千円

放課後子どもプラン推進事業(国庫補助分)

268,850千円

国1/3 県1/3

小学校 子ども教室 108箇所
児童クラブ 65箇所
【実施校率 90%(148/164)】
▶これに加えて小規模校等についても、地域の実情(必要性)に応じて柔軟に開設を支援する

中学校 放課後学習室 42箇所
【実施校率 45%(42/92)】

放課後の学びの場の定着及び充実を図るため、学習習慣の定着や学ぶ意欲の向上につながる助成を行う。
(宿題に留まらない多様な学習の場としての充実等)

【参考】放課後学習支援事業

高知市における学びの場の充実への支援

6,400千円

県1/2 市1/2

※新規開設分の環境整備については対象外

小学校 【対象経費】 26箇所
(4~6年生対応)
○学習支援者の謝金
○教材等の購入
40万円@1子ども教室

中学校 【対象経費】 4箇所
○学習支援者の謝金
○教材等の購入
60万円@1放課後学習室

②心を耕す教育の総合的な推進[小中学校課、高等学校課]

『高知のキャリア教育』の推進

こどもたちの社会的・職業的自立に向け、就学前・小中高が連携してすすめる高知のキャリア教育

高知のキャリア教育3本柱 →

学力向上

基本的生活習慣の確立

社会性の育成

子どもたちの「夢」や「志」をかなえる基となる力を育てる

- 郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子ども達の育成
- 学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成

社会的・職業的自立

自らの将来を切り拓く力を育てる
現実的探索・試行と社会的移行準備の時期

- 自己理解の深化と自己受容
- 選択基準としての勤労観、職業観の確立
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 進路の現実吟味と試行的参加

社会・上級学校

高校【3年間】

見通しをもつ力・やりぬく力を育てる
現実的探索と暫定的選択の時期

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心などに基づく勤労観、職業観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索

中学校【3年間】

かかわり合う力・自ら学ぼうとする力を育てる
進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

人格形成の基礎となる豊かな
心情・意欲・態度を育てる
生きる力の基礎を培う時期

- 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う
- 自立心を育て、人とかかわる力を養う
- さまざまな環境に好奇心や探究心をもって主体的にかかわろうとする力を養う
- 言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
- 感性と表現する力を養い、創造性を豊かにしていく

就学前

小学校【6年間】

学力向上

- ◇各教科等の授業や単元等のガイダンスを工夫し、目的意識を高める。
- ◇各教科の学習内容を吟味し、生活との関連を深める。
- ◇職業に関することや人の生き方に関する内容を活用する。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化させる。
- ◇返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぼうとする力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考えられる豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得させる。
- ◇社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。
- ◇職場見学等を通し、働くことの意義について考えさせる。
- ◇地域に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など

学力向上

- ◇各教科等とキャリア教育との関連性について正しく理解し、見通しをもつ力を育てる。
- ◇各教科等の特質と単元や題材などの内容を生かした創意工夫を行う。
- ◇学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心を持ち、正しく美しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化し、自己管理能力を育てる。
- ◇場に応じた返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、見通しをもつ力・やりぬく力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考え、自己の考えをもつことができるよう豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、自主性を高める。
- ◇社会と自己のかかわりから、自分の特徴に気づき、自分らしい生き方について考えさせる。
- ◇職場体験やボランティア活動等を通し、職業観・勤労観を深め、ともに助け合い生きる喜びを体感させる。
- ◇高知県に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など（キャリア教育副読本の活用）

学力向上

- ◇中学校段階までの基礎学力を定着させ、進路実現をイメージしながら学習に取り組むようにする。
- ◇専門的な知識・技能を身に付けさせる。
- ◇自分の考えを文章にしたり、発表するなど社会生活に必要なスキルを身に付けさせる。
- ◇物事を論理的に判断できる能力を身に付けさせる。
- ◇言語活動を活発かつ適正に行わせ、豊かな言語能力を養う。など

基本的生活習慣の確立

- ◇基本的な学校のルールを守ること、自己管理能力を高める。
- ◇社会で通用するマナーを身に付けさせる。
- ◇自らの進路を考えた家庭学習をできるようにする。
- ◇読書を通して感性を磨き、読解力や表現力、想像力を高め、人生をより豊かに生きる力を育てる。など

社会性の育成

- ◇主体的に社会の形成に参画していくために必要な思考力、判断力、コミュニケーション能力を育てる。
- ◇自分と他者が互いを認め合い、切磋琢磨し、自分の良さを伸ばできるようにする。
- ◇「場」に合った言動ができるようにする。
- ◇インターンシップを通して社会に出る具体的なイメージをもたせる。
- ◇郷土の将来を考え、自分の担う役割を自覚させるとともに、多くの人との触れ合いを通して、公共の精神を養い、グローバルな視野をもった人材を育てる。など

平成 24 年度予算額
60,831 千円
(51,076 千円)

新 小中学校キャリア教育推進事業 7,287 千円

- 中学生用キャリア教育副読本作成
郷土を愛する態度を育てるとともに自らの生き方について考えを深めるための中学生用キャリア副読本を作成・配付
- キャリア教育連絡協議会
キャリア教育を充実させるための方策や実践事例についての情報交換や協議
- 教育の日関連事業「高知県キャリア教育フォーラム」
学校・家庭・地域（産業界）の代表者によるシンポジウムや実践発表

組替新 学校パワーアップ事業 21,691 千円 (21,202 千円)

- ①学力向上対策の研究 ②教員ゼミ事業
- ③キャリア教育研究事業 ④教育課程研究事業

組替新 生徒パワーアップ事業 31,853 千円 (29,874 千円)

- ①学力向上サポート員事業 ②社会人基礎力の育成
- ③大学へ行くプロジェクト事業 ④企業を知ろう事業
- ⑤仕事を知ろう事業 ⑥本物に触れる事業 ⑦高大連携

子どもの読書活動の推進

104,170千円
(142,164千円)
(平成22年度2月補正予算額含む)

子どもの読書活動＝「子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」(子どもの読書活動の推進に関する法律第2条)

<現状と課題>

- ◆本県の子どもは、全国と比較して読書好きの子どもが多いが、学校外での読書の時間が少なく、自発的な読書活動に取り組む必要がある。
- ◆子どもの読書環境の地域間格差が大きく、中山間地域には公立図書館・書店のない市町村も多い。
- ◆子どもに本を手渡す司書やボランティアなどの専門性を有する人が少ない。
- ◆読書を楽しみ、読む力や情報活用能力を高めるために、読書活動を各教育計画へ位置付けたり、全ての教員が授業の中で学校図書館を活用したりするなど学校教育全体で取り組む必要がある。

<趣旨>

- ◆第二次高知県子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・地域・学校における子どもの読書活動を推進する。

家 庭

①ブックスタート応援事業 574千円(612千円)

- 乳幼児健診時に推薦図書リスト「絵本おはなし・宝箱」及び読書啓発用チラシ配布
- 市町村立図書館等や子どもの読書活動支援員による読み聞かせ等の実施

地 域

①読書ボランティア養成講座の実施 729千円(729千円)

- 県内を5ブロックに分けて各2回と全体会の計11回の養成講座を開催

②子どもの読書活動支援員の配置 17,471千円(21,214千円)

- 読書活動の支援が必要な14市町村へ子どもの読書活動支援員を配置、公立図書館等と学校図書館の活用を促進

③「親子で本を楽しむ日」の開催 1,116千円(1,850千円)

- 子どもの読書活動支援員が「親子で本を楽しむ日」を開催することにより、支援員の資質を高め、地域の読書環境を向上

④子ども司書養成講座の実施 370千円(370千円)

- 読書活動を推進するリーダーを育成する養成講座を3市町村で開催

学 校

①学校図書館活動推進校における実践と成果の普及

- 学校組織・全校体制での学校図書館の機能強化
- ガイドブックやリストブックの効果的な活用研究
- 図書を活用した探求的な学習の実践研究
- 学校図書館教育推進教諭を中心に全教職員の指導力向上

新 ②学校図書館支援員の配置と学校図書館の環境整備 79,000千円

- 学校図書館支援員の配置(90名)による学校図書館活動の活性化、読書習慣の確立
- 学校図書館への新規空調設備の設置による児童生徒の学校図書館や図書の利活用の促進

③学校図書館活動パワーアップ講座の開催 1,647千円(1,451千円)

- 学校図書館担当者及び学校図書館支援員を対象とした研修講座の実施

④「きっとある キミの心にひびく本」の配付と活用 2,933千円(4,179千円)

- 小・中学校新1年生への配付
- H24年度高知県わくドキ!ショートコメントコンテストの開催と表彰
- 「わくドキ!ショートコメント集」の配付による優秀作品の紹介
- 読書楽力検定の実施による自発的な読書の動機付け

☆子どもに読書の習慣を定着させ、読書の質を高めることで、豊かな心と感性を醸成し、考える力や表現力を身に付けるとともに、人との絆を育むことができる。

③喫緊の教育的課題への重点的な対応

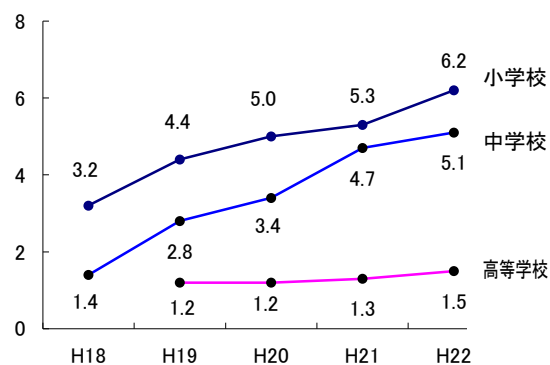
[特別支援教育課ほか事務局各課]

「発達障害等のある幼児児童生徒の指導及び支援の充実に関する指針」の推進 新規(2,668千円※)

※関連事業のうち、新規事業の金額のみ掲載

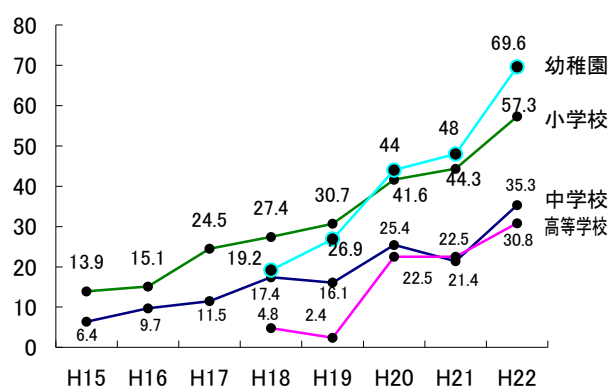
○発達障害等のある児童生徒の在籍率（高知県）

(%)



○発達障害等のある子どもの個別の指導計画作成状況（高知県）

(%)



「特別支援教育の理念の一層の 広がりをめざして」

わかる

【新規事業】2,343千円

- ◆新ユニバーサルデザイン授業づくりテキストの作成
- ◆新教員の専門性の向上
- ◆新専門性をもった教員養成
- ◆新発達障害のある生徒への支援（研究指定）



発達障害等のある子どもたちが

- 自分の長所や強みに気づくことができる子どもに
- 自分を肯定的に感じることができる子どもに
- 自分の特性を活かした社会的・職業的自立ができる子どもに

適切な指導と必要な支援を充実させます



保育所・幼稚園等

小・中学校

高等学校

つなが

- ◇保幼小連携「スマイルサポート」事業
- ◇いじめ・不登校小中連携事業

等



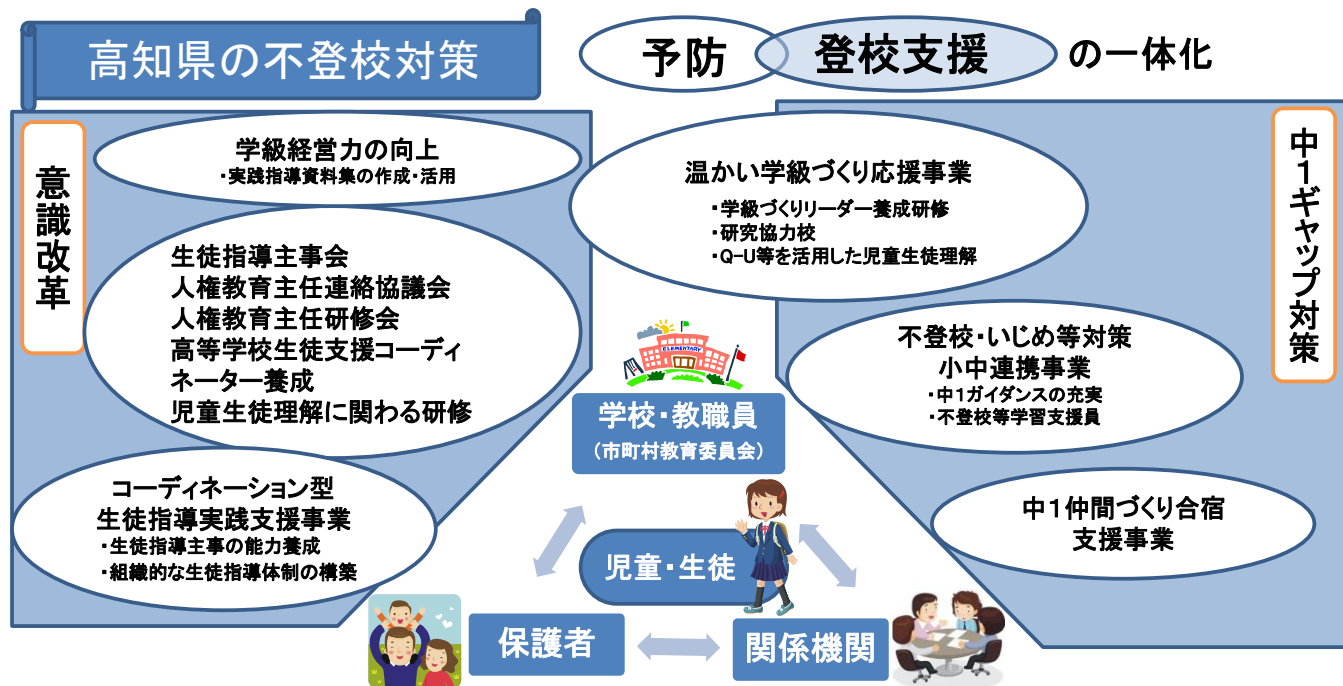
【新規事業】325千円

- ◆新「発達障害等のある児童生徒のキャリアQ&A」検討委員会
- ◆新「キャリア教育推進事業」（研究指定）
- ◇キャリア連絡協議会



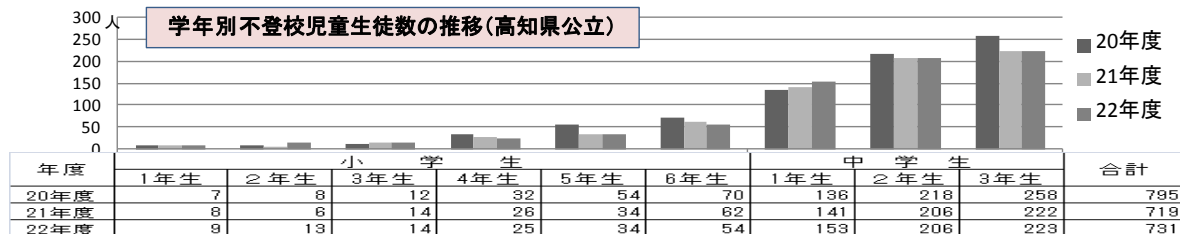
自立する

③喫緊の教育的課題への重点的な対応 [人権教育課]

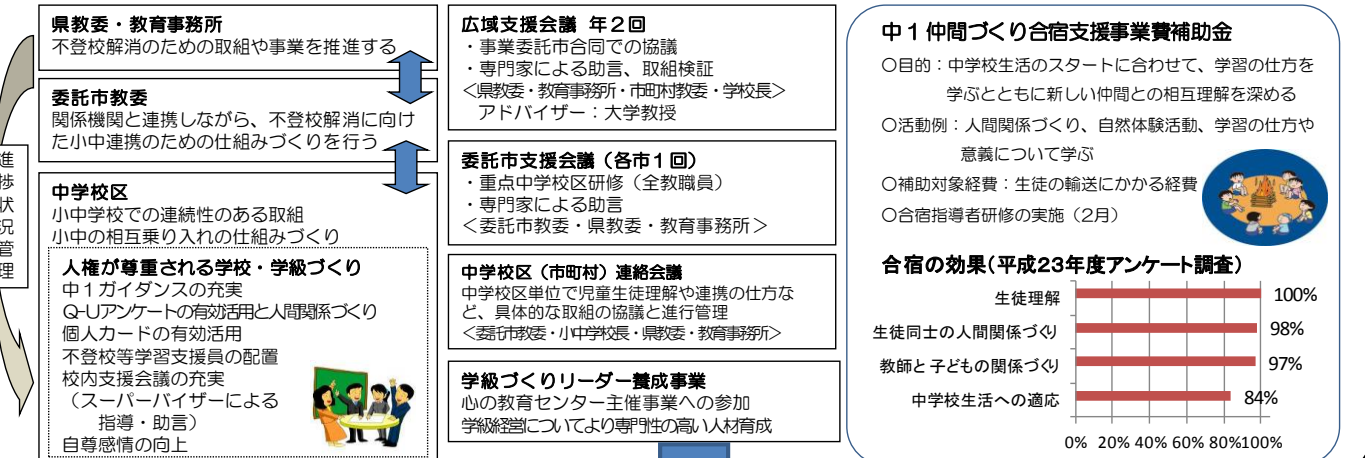


平成24年度不登校・いじめ等対策小中連携事業 H24 14,302千円 (H23 20,470千円)

本県においては、さまざまな要因で不登校やいじめ等、生徒指導上の課題が生じている。このような課題解決に積極的に取り組む市において、人権が尊重される学校・学級づくりを行うなかで、特に、小中学校を通じて連続性のある人間関係づくりや生徒指導を重点的に行い、不登校・いじめ等の発生率を改善する。



県教育委員会、委託市教育委員会、学校の一体的な推進



人権が尊重される学校・学級 ～不登校・いじめ等の未然防止～

防災教育推進事業

24年度予算額 14,856千円(1,282千円)

- 現状と課題**
- ・学校の危機管理能力・防災力、児童生徒の防災対応力を高める必要がある。
 - ・多くの学校が講師による講演や避難訓練のみの防災教育となっている。
 - ・実践的な防災教育の取組に限られた学校にとどまっており、他の学校での取組につながっていない。
 - ・地域と連携した取組が十分ではない。



学校の危機管理能力・防災力



① 防災教育研修会

2,292 千円

県内3カ所で研修会を実施し、正しい知識や先進地の事例を伝えることによって、学校の危機管理能力・防災力を高める。

※東部・中部・西部 学校悉皆研修

新

② 安全教育プログラム

【防災・防犯・交通安全】 3,403 千円

『安全教育プログラム』を作成(全教職員に配布)、安全教育の取組を広める。

【防災、防犯、交通安全】

安全教育の授業化に向けた指針を策定

新

③ 実践的防災教育推進事業

5,644 千円

モデル地域を指定し、緊急地震速報等を活用した避難訓練や公開授業等の先進的・実践的な防災教育を行い、取組内容を発信する。

※東部・中部・西部・県立学校

新

④ 学校防災アドバイザー派遣事業

917 千円

関係機関等と連携してアドバイザーを派遣し、各学校の実態に応じた学校防災マニュアル等の充実を図る。

※沿岸部を中心に50校へ派遣

児童生徒の防災対応力

地域の防災力

避難場所



新

⑤ 防災キャンプ推進事業

2,600 千円

県内2地域を指定。地域と連携した防災キャンプを実施し、避難生活を体験する。※沿岸部2地域

期待される成果

教職員の防災に関する資質・指導力の向上
 学校の防災管理・組織活動の強化
 学校における発達段階に応じた防災教育の充実
 自分の命を守ることができる児童生徒の育成
 地域との絆づくり

⑤学校等の耐震化の推進

〔学校安全対策課、幼保支援課〕

南海地震に備える施設整備費 4,298,173千円 (2,205,714千円)

南海地震に備え、児童生徒の安全・安心を確保するため、「県有建築物耐震化実施計画」に基づき、県立学校施設の耐震補強設計、耐震補強等工事を実施する。

また、児童生徒や地域住民の生命を守るため、津波浸水予想区域にある県立学校3校に避難用の外付け階段を設置する。

【平成24年度実施予定】

- 耐震補強設計 : 10校18棟 (※5棟前倒し)
- 耐震補強等工事 : 18校40棟
- 外付け階段等工事 : 3校 (高知南高校、須崎高校、高知海洋高校)

平成24年度に予算化された事業が完了した場合、公立高等学校・特別支援学校の耐震化率は78.9%へ上昇



公立学校施設耐震診断支援事業費・耐震化促進事業費 278,938千円 (425,754千円)

南海地震に備え、児童生徒の安全・安心を確保するため、市町村が実施する公立小中学校施設の耐震診断及び耐震補強等工事に要する経費の一部を支援する。

【補助率及び平成24年度実施予定】

- 耐震診断 : 補助率1/3、6市町村32校36棟を支援
- 耐震補強等工事 : 補助率1/6、10市町村13校19棟を支援

平成24年度に市町村が計画している事業が完了した場合、公立小中学校の耐震化率は83.6%へ上昇



保育所・幼稚園耐震化促進事業費 15,229千円 (3,923千円)

南海地震に備え、子ども達の安全・安心を確保するため、市町村や設置者が実施する保育所・幼稚園の耐震診断に要する経費の一部を支援する。

【補助率及び平成24年度実施予定】

- 市町村 : 補助率1/3、6市町村10施設11棟を支援
- 設置者 : 補助率2/3、7法人10カ所12棟を支援

平成24年度に設置者が計画している事業が完了した場合、保育所・幼稚園の耐震診断実施率は76.1%、耐震化率は71.3%となる見込み。



新 保育所・幼稚園等安全確保対策事業費補助金

H24予算額16,333千円
(一)16,333千円

目的

南海地震に備え、乳幼児の安全確保に必要な経費に対して助成を行い、保育所・幼稚園等の乳幼児の安全を確保する。

事業概要

1 補助対象事業

南海地震に備えるため、保育所（高知市を除く。）、幼稚園及び認定こども園において、乳幼児の安全確保のための窓ガラス飛散防止フィルムの施工及び乳幼児の避難にかかる避難車の購入

2 補助内容等

- (1) 窓ガラス飛散防止フィルムの施工に要する経費：補助率1/3以内
ただし、1園の補助対象経費の合計が30万円未満のものを除く。
- (2) 避難車の購入経費：補助率1/2以内
ただし、1園の補助対象経費の合計が20万円未満のものを除く。

3 補助先

市町村、私立幼稚園設置者、認定こども園設置者

4 事業実施期間

3年間（平成24年度～平成26年度）



新図書館等整備事業費

平成24年度予算額 258,786千円
(平成22年度2月補正予算額 132,777千円)

目的

狭隘化や老朽化が課題であった県立図書館と高知市民図書館本館を合築により新たに整備し、図書館機能の充実と効率的な運営を図る。また、点字図書館とこども科学館(仮称)を併設した複合施設として整備することで、様々な人々の交流を深め、県内の生涯学習や文化の発展に寄与する知的・文化的な基盤としていく。

主な事業内容

新図書館等複合施設の建築及びこども科学館(仮称)の展示にかかる設計について、平成23年度の基本設計に引き続き、実施設計を行う。

また、新図書館では、県立図書館と高知市民図書館を一本化した窓口でサービスを提供していくことになるため、それぞれの図書館情報システムを統合した新たなシステムを構築するための基本設計を行う。

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・新図書館等複合施設等実施設計委託料 | 205,344千円 |
| ・こども科学館展示実施設計委託料 | 15,918千円 |
| ・電波障害調査委託料 | 385千円 |
| ・新図書館情報システム等基本設計委託料 | 25,200千円 |
| ・事務費等 | 11,939千円 |

新図書館等複合施設の外観イメージ
(基本設計)



こども科学館(仮称)の展示イメージ(基本設計)



新図書館の館内イメージ(基本設計)



新図書館等複合施設の整備スケジュール(見込み)

平成23年度

- ・基本計画の作成
- ・基本設計

平成24年度

- ・実施設計
- ・情報システム(基本設計)

平成25年度

- ・埋蔵文化財発掘調査
- ・建築工事
- ・情報システム(詳細設計・構築)

平成26年度

- ・建築工事
- ・情報システム(構築)

平成27年度
開館



新 高知龍馬マラソン開催事業

平成24年度予算額:20,000千円

市民マラソン大会開催の必要性

- ◎健康志向の高まりが加速する中で全国的にランニング人口が増加しており、それに連動して市民マラソン大会が各地で開催され空前の人気となっている。
- ◎県外から多くの市民ランナーが参加することで、地域活性化への起爆剤として期待される。



高知龍馬マラソンの目的

生涯スポーツの振興

「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむ『生涯スポーツ社会』の実現」

高知市中心部を走る、桂浜周辺を走る、という魅力で参加意欲を向上させることで、大会参加を契機にした、県民のマラソンやジョギング習慣の定着や愛好家の増を図る。

⇒生涯スポーツの普及・振興
県民の健康増進
(基礎体力の向上、健康維持)



スポーツツーリズムの推進

「高知県の観光戦略としてのスポーツツーリズムの推進」

観光地である桂浜周辺をコースとすることで県外ランナーに向けたPR度を高め、観光オフシーズンにおける県外観光客の底上げを図る。

⇒1年間を通じて切れ目のない観光施策と地域の活性化(高い経済効果)

知名度の向上

リピーターの出現

高知龍馬マラソン2013の概要

- 1 開催日時 平成25年2月24日(日) 9:00スタート
- 2 主催 NPO法人高知陸上競技協会、高知新聞社、RKC高知放送、高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会
- 3 主管 高知龍馬マラソン実行委員会
- 4 開催種目 フルマラソン(42.195km)
- 5 コース (予定) 城西公園集合→升形・グランド通り付近(スタート)→県庁前→はりまや橋→(南国バイパス)→(県道春野赤岡線)→浦戸大橋→桂浜→春野陸上競技場(ゴール)
- 6 定員 3,000人
- 7 参加料 7,000円



マラソンによる爽やかな汗が、心と体を健康にし、さらには県の観光振興や地域の活性化に繋がる!!